# 関東地方

名前

問1　千葉県の農業において、大消費地である東京圏に隣接している利点を活かし、野菜などの産出額を押し上げている農業の形態を何と呼びますか。（2016年 山形県公立入試 類似）

1. 大規模農業
2. 抑制栽培
3. 近郊農業
4. 促成栽培

問2　千葉県の産業や人口の特色について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものを次から選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 人口が多く、第3次産業の割合が高いとともに、農業産出額と製造品出荷額がともに全国平均を上回っている。
2. 観光業が産業の中心であるため第3次産業の割合は非常に高いが、製造品出荷額や農業産出額は全国平均に及ばない。
3. 日本海側の気候を活かした稲作が盛んで農業産出額は高いが、人口および第3次産業の割合は全国平均を下回っている。
4. 古くからの文化財が多く観光客は多いが、大規模な工業地域を持たないため、製造品出荷額は全国平均を下回る。

問3　関東地方のある県の農業産出額の統計において、米の産出額が約400億円であるのに対し、野菜の産出額は約840億円、花きの産出額は約140億円と、野菜や花きの割合が非常に高くなっています。ネギやほうれん草などの生産が盛んな、この統計が示す県はどこですか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 茨城県
2. 栃木県
3. 群馬県
4. 千葉県

問4　1990年から2020年にかけての茨城県つくば市の人口推移について、2005年の鉄道開業が与えた影響と人口の変化を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 鉄道の開業によって東京都心への利便性が向上したことで、人口の増加が継続した
2. 鉄道網の整備により周辺都市へ人口が流出したため、夜間人口が1990年代よりも大幅に減少した
3. 鉄道の開業をきっかけに、利便性は高まったものの居住人口が減少に転じる傾向がみられた
4. 鉄道が開業したが、全国的な少子高齢化の影響を強く受け、2000年代以降は人口が横ばいとなった

問5　北関東工業地域が、内陸部を中心とした立地でありながら、機械工業を中心に発展を続けている背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2021年 静岡県公立入試 類似）

1. 利根川などの豊富な水資源を背景に、電力消費が激しい鉄鋼業や石油化学コンビナートが集中したため
2. 地価が安く広大な土地が確保でき、高速道路網の整備によって自動車や部品の効率的な輸送が可能になったため
3. 古くから続く製糸業の伝統を活かし、絹織物の技術を先端的な半導体製造へと直接応用させたため
4. 大規模な港湾施設が整備されたことで、海外から輸入した鉄鉱石や石炭を直接工場へ運び込めるようになったため

問6　東京都中央卸売市場におけるキャベツの月別出荷量を確認すると、愛知県や千葉県は1月から5月にかけての出荷が多い一方、群馬県は7月から10月にかけて突出して出荷量が多くなっています。群馬県がこの時期に大量の出荷を可能にしている背景として、最も適切なものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）

1. 広大な平坦地を活かして大型機械を導入し、他の地域よりも短期間で大量に収穫しているため
2. 消費地である東京に近いため、輸送コストを抑えて年間を通じて安定した供給を行っているため
3. 冬の寒さが厳しいため、大規模なビニールハウスや温室などの施設を利用して成長を早めているため
4. 標高の高い地域特有の夏の涼しい気候を利用して、平地での生産が難しい時期に栽培しているため

問7　18世紀初頭の日本の農業生産において、全体としては田の面積が畑の面積を上回る中で、例外的に畑の面積の方が広かった地域はどこですか。（2026年 大阪府公立入試 類似）

1. 東北地方
2. 関東地方
3. 近畿地方
4. 九州地方

問8　関東地方の各都県を比較した統計において、ある地域は「昼夜間人口比率」が118.1と突出して高く、周辺の県では80から90台という100を下回る数値を示しています。この数値が118.1である地域において、昼間の人口が夜間の居住人口を大きく上回っている主な理由として適切なものはどれですか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）

1. 都心部の人口密度が低くなり、夜間に居住する若者世代が急増したため
2. 周辺の県から東京都などの都心部へ、仕事や通学のために移動してくる人が多いため
3. 観光客の数が年間を通じて安定しており、夜間の宿泊者数が昼間の訪問者数を上回るため
4. 大規模な工場が郊外に移転し、夜間に働く労働者が都心部に居住しなくなったため

問9　さいたま市の人口統計において、常住する「夜間人口」が「昼間人口」を上回り、昼夜間人口比率が約93.0%と100%を下回る主な理由は、どのような背景によるものか。適切な説明を選びなさい。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 大規模な工業地帯が形成されており、夜間に働く交代制の労働者が他地域から多く流入するため
2. 高齢化の影響により、市外へ働きに出る現役世代が減り、日中も市内に留まる住民の割合が急増したため
3. 周辺の東京都などへ通勤・通学する人が多く、昼間に市外へ流出する人口が流入する人口より多いため
4. 商業施設が市街地の中央に集中しているため、近隣の県から買い物客が多く流入し、夜間人口が相対的に少なくなるため

問10　関東地方の各県における工業統計を示した資料において、栃木県の状況を説明した記述として最も適切なものはどれか。（2022年 兵庫県公立入試 類似）

1. 北関東工業地域に位置し、2019年時点の統計でも電気機械器具の出荷額が輸送用機械器具と同等の高い数値を示している。
2. 北関東の内陸部に位置しているが、原材料の輸入に依存するため、鉄鋼業が電気機械器具を上回る主要産業となっている。
3. 京葉工業地域に含まれ、出荷額の大部分を鉄鋼業と石油化学工業が占める典型的な臨海型工業の構造を持つ。
4. 京浜工業地帯の中核として、金属工業や印刷・製本業の出荷額が全国で最も高い水準にある。

問11　群馬県北部の地点から南東の埼玉県側の地点を結ぶ地形の断面的な特徴について、その標高の変化を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 岡山県公立入試 類似）

1. 北部の山地と南東の平野部の間に巨大な盆地が存在するため、中央部で一度標高が大きく下がった後に再び上昇する地形
2. 群馬県北部から埼玉県にかけて標高の差がほとんどなく、全域にわたって標高100メートル以下の平坦な土地が広がる地形
3. 南東側の平野部から北部の山地に向けて標高が緩やかに上昇し、標高500メートル程度のなだらかな丘陵地が続く地形
4. 標高2000メートルを超える北部の険しい山地から、南東へ進むにつれて標高が急降下し、広大で平坦な関東平野が続く地形

問12　関東平野の台地部分を広く覆っている、富士山や箱根山などの火山活動によって噴出した物質が長い年月をかけて堆積してできた赤土の層を何といいますか。（2025年 栃木県公立入試 類似）

1. 泥炭地
2. マサ土
3. 関東ローム層
4. シラス台地

# 答え合わせ・解説

| | | |
|---|---|---|
| 問1 | 答え 3<br>近郊農業 | 千葉県は、人口が集中する東京などの大都市に近いという地理的条件を活かし、新鮮さが求められる野菜などを生産して出荷する近郊農業が発展しています。この仕組みにより、輸送コストを抑えながら高い需要に応えることができるため、全国でも有数の農業産出額を維持しています。 |
| 問2 | 答え 1<br>人口が多く、第3次産業の割合が高いとともに、農業産出額と製造品出荷額がともに全国平均を上回っている。 | 千葉県は首都圏の一角として膨大な人口を抱えており、第3次産業有業者割合が高いのが特徴です。産業面では、京葉工業地域による工業生産と、全国有数の農業産出額を両立させており、面積が全国平均に近い中で、これほど多角的に高い指標を示す県は全国的にも珍しい存在です。 |
| 問3 | 答え 4<br>千葉県 | 千葉県は全国でもトップクラスの農業産出額を誇る県であり、特に野菜や花きの生産において、主食である米を大きく上回る産出額を記録しています。これは東京という巨大市場に隣接しているため、鮮度が求められるネギやほうれん草などの野菜、および観賞用の花きの栽培に特化しているためです。 |
| 問4 | 答え 1<br>鉄道の開業によって東京都心への利便性が向上したことで、人口の増加が継続した | つくば市では、2005年のつくばエクスプレス（高速鉄道）の開業により、東京都心との所要時間が大幅に短縮され、交通利便性が飛躍的に向上しました。統計資料によると、1990年から2020年にかけて夜間人口を示す数値は一貫して右肩上がりの伸びを示しており、鉄道開業後も人口減少に転じることなく成長を続けています。これは交通網の整備が居住地としての魅力を高め、新たな住民の流入を促進した典型的な事例といえます。 |
| 問5 | 答え 2<br>地価が安く広大な土地が確保でき、高速道路網の整備によって自動車や部品の効率的な輸送が可能になったため | 北関東工業地域は、東北自動車道や北関東自動車道などの高速道路が整備されたことで、部品や製品の配送が容易になりました。沿岸部に比べて安価で広い工場用地を確保しやすいため、多くの組み立て工場が進出し、機械工業が集積する内陸型の工業地域として発展しました。一方、港湾施設を前提とした重化学工業は、京葉工業地域や鹿島臨海工業地域の特色です。 |
| 問6 | 答え 4<br>標高の高い地域特有の夏の涼しい気候を利用して、平地での生産が難しい時期に栽培しているため | キャベツは本来、涼しい気候を好む野菜です。夏の気温が高い時期、平地にある愛知県や千葉県などの産地では生産量が落ちますが、群馬県の標高が高い地域（高冷地）では、その涼しさを利用して栽培が可能です。市場での供給が少なくなる時期に大量に出荷することで、農家は有利な価格で販売することができます。 |
| 問7 | 答え 2<br>関東地方 | 江戸時代中期の土地利用状況を地方別に比較すると、多くの地域で米を作るための「田」が優先的に確保されていましたが、関東地方だけは「畑」の面積の方が広くなっていました。九州地方などで畑作が盛んなイメージを持つ受験生も多いですが、当時の統計上の面積比較において、畑が田を上回るという逆転現象が起きていたのは関東地方であるという点が重要な特徴です。 |
| 問8 | 答え 2<br>周辺の県から東京都などの都心部へ、仕事や通学のために移動してくる人が多いため | 昼夜間人口比率は、夜間の居住人口を100とした場合の昼間人口の割合を示します。東京都のような大都市圏の核となる地域では、事務職やサービス業が集まる第3次産業が盛んであり、埼玉県や千葉県などの周辺地域から通勤・通学者が流入するため、比率が100を大きく超える特徴があります。逆に周辺の県は、夜間に寝に帰る場所としての役割が強いため、比率が100を下回ります。 |
| 問9 | 答え 3<br>周辺の東京都などへ通勤・通学する人が多く、昼間に市外へ流出する人口が流入する人口より多いため | さいたま市は、交通網の発達により東京都心へのアクセスが良いため、居住地としての役割（ベッドタウン）を強く持っています。そのため、夜間に市内に住んでいる「夜間人口」に対し、日中に仕事や学校のために市外（主に東京都）へ移動する人が多くなり、市内に残る「昼間人口」が少なくなります。昼間人口を夜間人口で割って算出する昼夜間人口比率が100%を下回るのは、こうした人口の流出が流入を上回っていることを示しています。 |
| 問10 | 答え 1<br>北関東工業地域に位置し、2019年時点の統計でも電気機械器具の出荷額が輸送用機械器具と同等の高い数値を示している。 | 栃木県は内陸に位置する北関東工業地域の一角を担っており、広い工場用地と発達した道路網を活かした工業展開がなされています。統計上、神奈川県や千葉県のような臨海部の重化学工業（鉄鋼や石油化学）が中心の県とは異なり、輸送用機械や電気機械といった加工組立型の工業が非常に強いことがデータからも読み取れます。特に電気機械器具は、栃木県工業を支える大きな柱の一つです。 |
| 問11 | 答え 4<br>標高2000メートルを超える北部の険しい山地から、南東へ進むにつれて標高が急降下し、広大で平坦な関東平野が続く地形 | 群馬県と新潟県の県境付近には、三国山脈などの標高2000メートル級の険しい山々が連なっています。そこから南東方向の埼玉県側へ向かうと、標高は急激に低くなり、日本最大の面積を持つ関東平野へとつながります。このように、北西側の高い山地と南東側の広大な平野という対照的な地形が隣接しているのが関東地方北部の大きな特徴です。 |
| 問12 | 答え 3<br>関東ローム層 | 関東平野の大部分を覆うこの層は、主に富士山や箱根山などの火山から噴出した火山灰が風に運ばれ、堆積したものです。火山灰に含まれる鉄分などの鉱物が酸化しているため、独特の赤みを帯びています。九州南部に広がる火山灰層であるシラス台地や、花こう岩が風化してできた中国地方に多いマサ土との違いを区別しましょう。 |